



・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

- ① 0より小さい数を _____ といい、負の符号「 _____ 」を使って表す。
- ② 0より大きい数を _____ といい、正の符号「 _____ 」を使って表すことがある。
- ③ 正の整数のことを _____ ともいう。
- ④ 数直線上で0にあたる点を _____ という。
- ⑤ 数直線上で0からある数までの距離を、その数の _____ という。
- ⑥ 負の数は0より _____ 、絶対値が大きいほど _____ 。
- ⑦ 正の数は0より _____ 、絶対値が大きいほど _____ 。

自然数 + 負の数 - 絶対値 原点 正の数
小さく 大きく 小さい 大きい





・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

① たし算のことを _____ といい、たし算の結果のことを _____ という。

② ひき算のことを _____ といい、ひき算の結果のことを _____ という。

③ かけ算のことを _____ といい、かけ算の結果のことを _____ という。

④ わり算のことを _____ といい、わり算の結果のことを _____ という。

⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて _____ という。

⑥ $4, -7, -6$ を式 $4 - 7 - 6$ の _____ という。

また 4 のことを _____ 、

$-7, -6$ のことを _____ という。

⑦ 加法では 正負の数についても、加法の _____ 、
加法の _____ が成り立つ。

$$\bigcirc + \triangle = \triangle + \bigcirc$$

$$(\bigcirc + \triangle) + \square = \triangle + (\bigcirc + \square)$$

減法 加法 四則 乗法 除法 負の項 正の項
項 積 差 商 和 結合法則 交換法則



・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

① 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の _____ という。

② 乗法では 正負の数についても、乗法の _____ 、
乗法の _____ が成り立つ。
$$\bigcirc \times \Delta = \Delta \times \bigcirc$$
$$(\bigcirc \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\bigcirc \times \square)$$

③ 同じ数をいくつかけるとき、 2^3 のように表すことがある。
かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを _____ という。

④ 自然数全体の集まりのことを自然数の _____ という。

⑤ 整数の集合は自然数と _____ と _____ をあわせたものである。

⑥ 1とその数のほかに約数がない自然数を _____ という。

⑦ 自然数を素数だけの積で表すことを _____ するという。

逆数 結合法則 交換法則 集合 素数 指数
0 素因数分解 負の整数



・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

- ① 数直線上で0からある数までの距離を、その数の _____
という。
- ② 負の数は0より _____、絶対値が大きいほど _____。
- ③ かけ算のことを _____ といい、かけ算の結果のことを _____ という。
- ④ わり算のことを _____ といい、わり算の結果のことを _____ という。
- ⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて _____ という。
- ⑥ 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の _____ という。
- ⑦ 整数の集合は自然数と _____ と _____ をあわせたものである。
- ⑧ 1とその数のほかに約数がない自然数を _____ という。

逆数 小さく 四則 除法 素数 乗法
0 負の整数 小さい 商 絶対値 積





・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

- ① 0より小さい数を _____ といい、負の符号「 _____ 」を使って表す。
- ② 数直線上で0にあたる点を _____ という。
- ③ 正の数は0より _____ 、絶対値が大きいほど _____ 。
- ④ たし算のことを _____ といい、たし算の結果のことを _____ という。
- ⑤ $4, -7, -6$ を式 $4 - 7 - 6$ の _____ という。
また 4のことを _____ 、
 $-7, -6$ のことを _____ という。
- ⑥ 乗法では 正負の数についても、乗法の _____ 、
乗法の _____ が成り立つ。
 $\bigcirc \times \Delta = \Delta \times \bigcirc$
 $(\bigcirc \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\bigcirc \times \square)$
- ⑦ 同じ数をいくつかけるとき、 2^3 のように表すことがある。
かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを _____ という。

結合法則 負の項 大きい 加法 原点 正の項
— 交換法則 大きく 和 負の数 指数 項



・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

- ① 0より小さい数を _____ といい、負の符号「 _____ 」を使って表す。
- ② 0より大きい数を _____ といい、正の符号「 _____ 」を使って表すことがある。
- ③ 正の整数のことを _____ ともいう。
- ④ 数直線上で0にあたる点を _____ という。
- ⑤ 数直線上で0からある数までの距離を、その数の _____ という。
- ⑥ 負の数は0より _____ 、絶対値が大きいほど _____ 。
- ⑦ 正の数は0より _____ 、絶対値が大きいほど _____ 。

自然数 負の数 小さい - 原点 素数 正の数
小さく + 大きく 絶対値 大きい 負の項





・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

① たし算のことを _____ といい、たし算の結果のことを _____ という。

② ひき算のことを _____ といい、ひき算の結果のことを _____ という。

③ かけ算のことを _____ といい、かけ算の結果のことを _____ という。

④ わり算のことを _____ といい、わり算の結果のことを _____ という。

⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて _____ という。

⑥ $4, -7, -6$ を式 $4 - 7 - 6$ の _____ という。

また 4 のことを _____ 、

$-7, -6$ のことを _____ という。

⑦ 加法では 正負の数についても、加法の _____ 、
加法の _____ が成り立つ。

$$\bigcirc + \triangle = \triangle + \bigcirc$$

$$(\bigcirc + \triangle) + \square = \triangle + (\bigcirc + \square)$$

項 加法 商 乗法 結合法則 負の項 正の項
減法 積 0 四則 和 徐法 集合 交換法則 差





・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

① 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の _____ という。

② 乗法では 正負の数についても、乗法の _____ 、
乗法の _____ が成り立つ。
$$\bigcirc \times \Delta = \Delta \times \bigcirc$$
$$(\bigcirc \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\bigcirc \times \square)$$

③ 同じ数をいくつかけるとき、 2^3 のように表すことがある。
かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを _____ という。

④ 自然数全体の集まりのことを自然数の _____ という。

⑤ 整数の集合は自然数と _____ と _____ をあわせたものである。

⑥ 1とその数のほかに約数がない自然数を _____ という。

⑦ 自然数を素数だけの積で表すことを _____ するという。

逆数	負の整数	結合法則	自然数	0
素数	交換法則	素因数分解	集合	指数



・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

- ① 数直線上で0からある数までの距離を、その数の _____
という。
- ② 負の数は0より _____、絶対値が大きいほど _____。
- ③ かけ算のことを _____ といい、かけ算の結果のことを _____ という。
- ④ わり算のことを _____ といい、わり算の結果のことを _____ という。
- ⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて _____ という。
- ⑥ 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の _____ という。
- ⑦ 整数の集合は自然数と _____ と _____ をあわせたものである。
- ⑧ 1とその数のほかに約数がない自然数を _____ という。

逆数 乗法 小さい 商 除法 素数 四則
積 小さく 0 大きい 絶対値 負の整数





・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

- ① 0より小さい数を _____ といい、負の符号「 _____ 」を使って表す。
- ② 0より大きい数を _____ といい、正の符号「 _____ 」を使って表すことがある。
- ③ 正の整数のことを _____ ともいう。
- ④ 数直線上で0にあたる点を _____ という。
- ⑤ 数直線上で0からある数までの距離を、その数の _____ という。
- ⑥ 負の数は0より _____ 、絶対値が大きいほど _____ 。
- ⑦ 正の数は0より _____ 、絶対値が大きいほど _____ 。
- ⑧ 加法では 正負の数についても、加法の _____ 、
加法の _____ が成り立つ。
$$\circ + \triangle = \triangle + \circ$$
$$(\circ + \triangle) + \square = \triangle + (\circ + \square)$$
- ⑨ 自然数全体の集まりのことを自然数の _____ という。
- ⑩ ひき算のことを _____ といい、ひき算の結果のことを _____ という。





・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

① たし算のことを _____ といい、たし算の結果のことを _____ という。

② ひき算のことを _____ といい、ひき算の結果のことを _____ という。

③ かけ算のことを _____ といい、かけ算の結果のことを _____ という。

④ わり算のことを _____ といい、わり算の結果のことを _____ という。

⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて _____ という。

⑥ $4, -7, -6$ を式 $4 - 7 - 6$ の _____ という。

また 4 のことを _____ 、

$-7, -6$ のことを _____ という。

⑦ 加法では 正負の数についても、加法の _____ 、
加法の _____ が成り立つ。
 $\bigcirc + \Delta = \Delta + \bigcirc$
 $(\bigcirc + \Delta) + \square = \Delta + (\bigcirc + \square)$

⑧ 自然数全体の集まりのことを自然数の _____ という。

⑨ 自然数を素数だけの積で表すことを _____ するという。



- ・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。
- ① 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の _____ という。
- ② 乗法では 正負の数についても、乗法の _____ 、
乗法の _____ が成り立つ。 $\bigcirc \times \Delta = \Delta \times \bigcirc$
 $(\bigcirc \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\bigcirc \times \square)$
- ③ 同じ数をいくつかけるとき、 2^3 のように表すことがある。
かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを _____ という。
- ④ 自然数全体の集まりのことを自然数の _____ という。
- ⑤ 整数の集合は自然数と _____ と負の整数をあわせたものである。
- ⑥ 1とその数のほかに約数がない自然数を _____ という。
- ⑦ 自然数を素数だけの積で表すことを _____ するという。
- ⑧ 0より大きい数を _____ といい、正の符号「 _____ 」を
使って表すことがある。
- ⑨ 正の整数のことを _____ ともいう。
- ⑩ 加法では 正負の数についても、加法の _____ 、
加法の _____ が成り立つ。 $\bigcirc + \Delta = \Delta + \bigcirc$
 $(\bigcirc + \Delta) + \square = \Delta + (\bigcirc + \square)$



・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

- ① 数直線上で0からある数までの距離を、その数の _____
という。
- ② 乗法では 正負の数についても、乗法の _____、
乗法の _____ が成り立つ。
$$\bigcirc \times \Delta = \Delta \times \bigcirc$$
$$(\bigcirc \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\bigcirc \times \square)$$
- ③ かけ算のことを _____ といい、かけ算の結果のことを _____ という。
- ④ わり算のことを _____ といい、わり算の結果のことを _____ という。
- ⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて _____ という。
- ⑥ 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の _____ という。
- ⑦ 整数の集合は自然数と0と _____ をあわせたものである。
- ⑧ 自然数を素数だけの積で表すことを _____ するという。
- ⑨ 正の整数のことを _____ ともいう。
- ⑩ 正の数は0より _____、絶対値が大きいほど _____。





・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

① 0より小さい数を _____ といい、負の符号「 _____ 」を使って表す。

② 数直線上で0にあたる点を _____ という。

③ 正の数は0より _____ 、絶対値が大きいほど _____ 。

④ たし算のことを _____ といい、たし算の結果のことを _____ という。

⑤ ひき算のことを _____ といい、ひき算の結果のことを _____ という。

⑥ 乗法では 正負の数についても、乗法の _____ 、
乗法の _____ が成り立つ。
$$\bigcirc \times \Delta = \Delta \times \bigcirc$$
$$(\bigcirc \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\bigcirc \times \square)$$

⑦ 同じ数をいくつかけるとき、 2^3 のように表すことがある。

かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを _____ という。

⑧ $4, -7, -6$ を式 $4 - 7 - 6$ の _____ という。

また 4 のことを _____ 、

$-7, -6$ のことを _____ という。

⑨ 自然数を素数だけの積で表すことを _____ するという。



・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。(各20点 ※完全正答)

① 0より小さい数を _____ といい、負の符号「 _____ 」を使って表す。

② 負の数は0より _____ 、絶対値が大きいほど _____ 。

③ $4, -7, -6$ を式 $4 - 7 - 6$ の _____ という。
また 4 のことを _____ 、
 $-7, -6$ のことを _____ という。

④ 同じ数をいくつかかけるとき、 2^3 のように表すことがある。
かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを _____ という。

⑤ 1とその数のほかに約数がない自然数を _____ という。





・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。(各20点 ※完全正答)

① 数直線上で0にあたる点を _____ という。

② 加法では 正負の数についても、加法の _____ 、
加法の _____ が成り立つ。
$$\circ + \triangle = \triangle + \circ$$
$$(\circ + \triangle) + \square = \triangle + (\circ + \square)$$

③ 自然数全体の集まりのことを自然数の _____ という。

④ 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の _____ という。

⑤ 正の整数のことを _____ ともいう。





・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

- ① 0より小さい数を 負の数 といい、負の符号「-」を使って表す。
- ② 0より大きい数を 正の数 といい、正の符号「+」を使って表すことがある。
- ③ 正の整数のことを 自然数 ともいう。
- ④ 数直線上で0にあたる点を 原点 という。
- ⑤ 数直線上で0からある数までの距離を、その数の 絶対値 という。
- ⑥ 負の数は0より 小さく、絶対値が大きいほど 小さい。
- ⑦ 正の数は0より 大きく、絶対値が大きいほど 大きい。

自然数 + 負の数 - 絶対値 原点 正の数
小さく 大きく 小さい 大きい





・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

① たし算のことを 加法 といい、たし算の結果のことを 和 という。

② ひき算のことを 減法 といい、ひき算の結果のことを 差 という。

③ かけ算のことを 乗法 といい、かけ算の結果のことを 積 という。

④ わり算のことを 除法 といい、わり算の結果のことを 商 という。

⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて 四則 という。

⑥ 4, -7, -6 を式 $4 - 7 - 6$ の 項 という。

また 4 のことを 正の項、

-7, -6 のことを 負の項 という。

⑦ 加法では 正負の数についても、加法の 交換法則、

$$\bigcirc + \triangle = \triangle + \bigcirc$$

加法の 結合法則 が成り立つ。

$$(\bigcirc + \triangle) + \square = \triangle + (\bigcirc + \square)$$

減法 加法 四則 乗法 除法 負の項 正の項
項 積 差 商 和 結合法則 交換法則





・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

① 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の 逆数 という。

② 乗法では 正負の数についても、乗法の 交換法則、
乗法の 結合法則 が成り立つ。
$$\circ \times \Delta = \Delta \times \circ$$
$$(\circ \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\circ \times \square)$$

③ 同じ数をいくつかかけるとき、 2^3 のように表すことがある。
かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを 指数 という。

④ 自然数全体の集まりのことを自然数の 集合 という。

⑤ 整数の集合は自然数と 0 と 負の整数 をあわせたものである。

⑥ 1とその数のほかに約数がない自然数を 素数 という。

⑦ 自然数を素数だけの積で表すことを 素因数分解 するという。

逆数 結合法則 交換法則 集合 素数 指数
0 素因数分解 負の整数



・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

- ① 数直線上で0からある数までの距離を、その数の 絶対値 という。
- ② 負の数は0より 小さく、絶対値が大きいほど 小さい。
- ③ かけ算のことを 乗法 といい、かけ算の結果のことを 積 という。
- ④ わり算のことを 除法 といい、わり算の結果のことを 商 という。
- ⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて 四則 という。
- ⑥ 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の 逆数 という。
- ⑦ 整数の集合は自然数と 0 と 負の整数 をあわせたものである。
- ⑧ 1とその数のほかに約数がない自然数を 素数 という。

逆数	小さく	四則	除法	素数	乗法
0	負の整数	小さい	商	絶対値	積





・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

① 0より小さい数を 負の数 といい、負の符号「－」を使って表す。

② 数直線上で0にあたる点を 原点 という。

③ 正の数は0より 大きく、絶対値が大きいほど 大きい。

④ たし算のことを 加法 といい、たし算の結果のことを 和 という。

⑤ 4, -7, -6を式 $4 - 7 - 6$ の 項 という。

また 4のことを 正の項、

-7, -6のことを 負の項 という。

⑥ 乗法では正負の数についても、乗法の 交換法則、

$$\bigcirc \times \triangle = \triangle \times \bigcirc$$

乗法の 結合法則 が成り立つ。

$$(\bigcirc \times \triangle) \times \square = \triangle \times (\bigcirc \times \square)$$

⑦ 同じ数をいくつかけるとき、 2^3 のように表すことがある。

かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを 指数 という。

結合法則 負の項 大きい 加法 原点 正の項

－ 交換法則 大きく 和 負の数 指数 項





・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の から選んで書きなさい。

- ① 0より小さい数を 負の数 といい、負の符号「-」を使って表す。
- ② 0より大きい数を 正の数 といい、正の符号「+」を使って表すことがある。
- ③ 正の整数のことを 自然数 ともいう。
- ④ 数直線上で0にあたる点を 原点 という。
- ⑤ 数直線上で0からある数までの距離を、その数の 絶対値 という。
- ⑥ 負の数は0より 小さく、絶対値が大きいほど 小さい。
- ⑦ 正の数は0より 大きく、絶対値が大きいほど 大きい。

自然数 負の数 小さい - 原点 素数 正の数
小さく + 大きく 絶対値 大きい 負の項





・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

① たし算のことを 加法 といい、たし算の結果のことを 和 という。

② ひき算のことを 減法 といい、ひき算の結果のことを 差 という。

③ かけ算のことを 乗法 といい、かけ算の結果のことを 積 という。

④ わり算のことを 除法 といい、わり算の結果のことを 商 という。

⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて 四則 という。

⑥ 4, -7, -6 を式 $4 - 7 - 6$ の 項 という。

また 4 のことを 正の項、

-7, -6 のことを 負の項 という。

⑦ 加法では 正負の数についても、加法の 交換法則、

$$\bigcirc + \triangle = \triangle + \bigcirc$$

加法の 結合法則 が成り立つ。

$$(\bigcirc + \triangle) + \square = \triangle + (\bigcirc + \square)$$

項 加法 商 乗法 結合法則 負の項 正の項
減法 積 0 四則 和 除法 集合 交換法則 差





・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

① 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の 逆数 という。

② 乗法では 正負の数についても、乗法の 交換法則、
乗法の 結合法則 が成り立つ。
$$\circ \times \Delta = \Delta \times \circ$$
$$(\circ \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\circ \times \square)$$

③ 同じ数をいくつかけるとき、 2^3 のように表すことがある。
かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを 指数 という。

④ 自然数全体の集まりのことを自然数の 集合 という。

⑤ 整数の集合は自然数と 0 と 負の整数 をあわせたものである。

⑥ 1とその数のほかに約数がない自然数を 素数 という。

⑦ 自然数を素数だけの積で表すことを 素因数分解 するという。

逆数	負の整数	結合法則	自然数	0
素数	交換法則	素因数分解	集合	指数



・ 次の _____ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

- ① 数直線上で0からある数までの距離を、その数の 絶対値 という。
- ② 負の数は0より 小さく、絶対値が大きいほど 小さい。
- ③ かけ算のことを 乗法 といい、かけ算の結果のことを 積 という。
- ④ わり算のことを 除法 といい、わり算の結果のことを 商 という。
- ⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて 四則 という。
- ⑥ 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の 逆数 という。
- ⑦ 整数の集合は自然数と 0 と 負の整数 をあわせたものである。
- ⑧ 1とその数のほかに約数がない自然数を 素数 という。

逆数 乗法 小さい 商 除法 素数 四則
積 小さく 0 大きい 絶対値 負の整数





・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

- ① 0より小さい数を 負の数 といい、負の符号「-」を使って表す。
- ② 0より大きい数を 正の数 といい、正の符号「+」を使って表すことがある。
- ③ 正の整数のことを 自然数 ともいう。
- ④ 数直線上で0にあたる点を 原点 という。
- ⑤ 数直線上で0からある数までの距離を、その数の 絶対値 という。
- ⑥ 負の数は0より 小さく、絶対値が大きいほど 小さい。
- ⑦ 正の数は0より 大きく、絶対値が大きいほど 大きい。
- ⑧ 加法では 正負の数についても、加法の 交換法則、
加法の 結合法則 が成り立つ。
$$\circ + \triangle = \triangle + \circ$$
$$(\circ + \triangle) + \square = \triangle + (\circ + \square)$$
- ⑨ 自然数全体の集まりのことを自然数の 集合 という。
- ⑩ ひき算のことを 減法 といい、ひき算の結果のことを 差 という。





・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

① たし算のことを 加法 といい、たし算の結果のことを 和 という。

② ひき算のことを 減法 といい、ひき算の結果のことを 差 という。

③ かけ算のことを 乗法 といい、かけ算の結果のことを 積 という。

④ わり算のことを 除法 といい、わり算の結果のことを 商 という。

⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて 四則 という。

⑥ $4, -7, -6$ を式 $4 - 7 - 6$ の 項 という。

また 4 のことを 正の項 、

$-7, -6$ のことを 負の項 という。

⑦ 加法では 正負の数についても、加法の 交換法則 、

$$\bigcirc + \triangle = \triangle + \bigcirc$$

加法の 結合法則 が成り立つ。

$$(\bigcirc + \triangle) + \square = \triangle + (\bigcirc + \square)$$

⑧ 自然数全体の集まりのことを自然数の 集合 という。

⑨ 自然数を素数だけの積で表すことを 素因数分解 するという。





- ・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。
- ① 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の 逆数 という。
- ② 乗法では 正負の数についても、乗法の 交換法則、
乗法の 結合法則 が成り立つ。
$$\bigcirc \times \Delta = \Delta \times \bigcirc$$
$$(\bigcirc \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\bigcirc \times \square)$$
- ③ 同じ数をいくつかけるとき、 2^3 のように表すことがある。
かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを 指数 という。
- ④ 自然数全体の集まりのことを自然数の 集合 という。
- ⑤ 整数の集合は自然数と 0 と負の整数をあわせたものである。
- ⑥ 1とその数のほかに約数がない自然数を 素数 という。
- ⑦ 自然数を素数だけの積で表すことを 素因数分解 するという。
- ⑧ 0より大きい数を 正の数 といい、正の符号「+」を
使って表すことがある。
- ⑨ 正の整数のことを 自然数 ともいう。
- ⑩ 加法では 正負の数についても、加法の 交換法則、
加法の 結合法則 が成り立つ。
$$\bigcirc + \Delta = \Delta + \bigcirc$$
$$(\bigcirc + \Delta) + \square = \Delta + (\bigcirc + \square)$$



・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

① 数直線上で0からある数までの距離を、その数の 絶対値 という。

② 乗法では 正負の数についても、乗法の 交換法則、
乗法の 結合法則 が成り立つ。
$$\circ \times \Delta = \Delta \times \circ$$
$$(\circ \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\circ \times \square)$$

③ かけ算のことを 乗法 といい、かけ算の結果のことを 積 という。

④ わり算のことを 除法 といい、わり算の結果のことを 商 という。

⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて 四則 という。

⑥ 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の 逆数 という。

⑦ 整数の集合は自然数と0と 負の整数 をあわせたものである。

⑧ 自然数を素数だけの積で表すことを 素因数分解 するという。

⑨ 正の整数のことを 自然数 ともいう。

⑩ 正の数は0より 大きく、絶対値が大きいほど 大きい。





・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

① 0より小さい数を 負の数 といい、負の符号「-」を使って表す。

② 数直線上で0にあたる点を 原点 という。

③ 正の数は0より 大きく、絶対値が大きいほど 大きい。

④ たし算のことを 加法 といい、たし算の結果のことを 和 という。

⑤ ひき算のことを 減法 といい、ひき算の結果のことを 差 という。

⑥ 乗法では 正負の数についても、乗法の 交換法則、
乗法の 結合法則 が成り立つ。
$$\circ \times \Delta = \Delta \times \circ$$
$$(\circ \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\circ \times \square)$$

⑦ 同じ数をいくつかけるとき、 2^3 のように表すことがある。

かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを 指数 という。

⑧ $4, -7, -6$ を式 $4 - 7 - 6$ の 項 という。

また 4 のことを 正の項、

$-7, -6$ のことを 負の項 という。

⑨ 自然数を素数だけの積で表すことを 素因数分解 するという。





・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。(各20点 ※完全正答)

① 0より小さい数を 負の数 といい、負の符号「-」を使って表す。

② 負の数は0より 小さく、絶対値が大きいほど 小さい。

③ $4, -7, -6$ を式 $4 - 7 - 6$ の 項 という。

また 4 のことを 正の項、

$-7, -6$ のことを 負の項 という。

④ 同じ数をいくつかけるとき、 2^3 のように表すことがある。

かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを 指数 という。

⑤ 1とその数のほかに約数がない自然数を 素数 という。





・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。(各20点 ※完全正答)

① 数直線上で0にあたる点を 原点 という。

② 加法では 正負の数についても、加法の 交換法則、
加法の 結合法則 が成り立つ。
$$\circ + \triangle = \triangle + \circ$$
$$(\circ + \triangle) + \square = \triangle + (\circ + \square)$$

③ 自然数全体の集まりのことを自然数の 集合 という。

④ 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の 逆数 という。

⑤ 正の整数のことを 自然数 ともいう。

